



今月は今高の教育指標 自律・勤勉・創造 のうちの

「勤勉」について考える

勤勉とは、仕事や勉強などに一生懸命に励むことやその様子を指します。また、勤勉とは別に、「勤勉性」という言葉があります。これは児童期の発達心理学者であるエリクソンの定義した言葉です。エリクソンは「勤勉性とは社会から期待される活動を自発的に、習慣的に営むこと」だと考えています。つまり、周りに期待される行動を①自分から行う②常に行う、ところにポイントがあります。人に言われた時しか行動しなかったり、昨日はやったけど今日はやらなかったり、なんていうのは勤勉とは言わないわけです。さらにこの「周りに期待される行動」というのもポイントです。自分がやりたいことを毎日やっているだけでは勤勉な人とは言われません。

外国人からは、日本人は真面目で勤勉だというイメージを持たれているそうです。確かに日本人にとって勤勉や努力は美德とされています。勉強や仕事に励み、努力することを継続できる人とできない人の違いは何でしょうか。

それは、明確な「目標」や「目的」があるか無いかだと思います。

私たち人間は、目標や目的がないままに、ただ頑張り続けるというのは無理です。真面目で努力することは、十分価値のあるものですが、現代ではそれだけでは物足りないと感じられているのではないのでしょうか。ただ単純に同じことを繰り返す。ただ単純にやるべきことを実行する。真面目で努力する人なのかもしれませんが、何かが足りない気がします…。何が足りないのか…それは「効率を上げるための工夫」や「より成果を出すための試み（チャレンジ）」ではないのでしょうか。

勤勉とは明確な「目標」や「目的」をもち、自分から物事に取り組むこと・・・

間もなく2学期期末テストがやってきます。みなさんは、期末テストに向けて**明確な目標をもって学習に取り組んでいますか？**ただ闇雲に、やりたい教科の学習をやりたい分だけやってテスト勉強したつもりになっていませんか？各教科や科目ごとに、**やりたい最高点を具体的に設定して、どのように準備していけばその目標点を取ることができ**るかを考えて、**テスト勉強の計画を立て、日々実践してください。**そうすることで、得意な教科はもちろんのこと、苦手な教科にも取り組むモチベーションにつながります。そして、目標が達成されればそれが自信となってますます学習意欲が湧くでしょうし、もし目標が達成できなくても、なぜ、どこが、うまくいかなかったのか、改善点が明確になり、次のテストに生かすことができます。

目標達成！



「どんなに勉強し、勤勉であっても、上手くいかないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない」
(渋沢 栄一)

物事がうまくいかない時というのは誰にでも訪れます。

とくに勉強はそうです。簡単に成績が上がってくれたり、勉強したらその分だけ成績が上がっていったりしたら嬉しいのですが、なかなかそういかない時ということがあります。それでも、高校生のみなさんには、「成功するまで続ける」と決めてそれに取り組み続けるという気持ちがとても大切です。



11月は

勤勉性を身につけよう旬間

教育指標：自律・勤勉・創造の勤勉より

勤勉とは

明確な「目標」や「目的」をもち、自分から物事に取り組むこと

2学期が中間地点を過ぎました。1年の半分以上が過ぎたことになります。なりたい自分に、進みたい進路に自分から近づいていけるように、「勤勉」に高校生活を過ごせるようにしましょう！

勤勉に高校生活を過ごすために自分のモチベーションを上げる方法

1. 大きな目標を小さなタスクに分割する

2. 意欲が高い人たちとの交流を深める

3. 自分へのご褒美を用意する



4. 休憩を取る



5. 高校に通っている理由を再確認する



6. 真摯に取り組む



7. 心身を大切にする



8. 重要なタスクを優先的に片付ける

